



はちのす

木戸小学校学校だより
令和4年6月15日
No.264
在籍児童数404名
令和4年6月1日現在

地域とともに歩む学校を目指して

校長 土田 学

今年度行った交通安全街頭指導報告に目を通させていただきました。その中で、子どもたちを温かく見守ってくださっていることが伝わってくる記述がいくつもありました。その一部を紹介します（指導を要するものについては、全校で指導しています）。

- ・子どもたちがきちんとあいさつしてくれて良かったです。
- ・皆安全に横断歩道を利用して渡り、あいさつをして元気に登校していきました。1年生と登校する上級生は歩く速さを合わせてあげていました。
- ・上級生が下の子の面倒をよく見ていて大変気持ちがよい。
- ・1年生と一緒に登校する高学年は自分が車道側を歩いていて立派でした。



学校運営協議会の様子

指導報告を読んで私は、「こうした子どもたちに向けられた温かいまなざしが、木戸の子どもたちの素直さや健やかさを育ててくれているのだな」とうれしくなりました。

6月1日に学校運営協議会を行いました。学校運営協議会は「学校と地域が共通の目標をもって」子どもの成長を支えることを目的に、今年度から全市の小中学校でスタートした事業です。その中で、めざす子どもの姿について話題に上り、次のような意見が出ました。

- ・木戸の子は優しく素直だと言われているが、中学に行くと前面に立つ子がなかなかいない。もっと前面に立つような子を育ててもらいたい。
- ・これからのリーダーに求められるのは、人の意見を取り入れていく姿勢である。小学校の段階では褒め合ったり、自己肯定感を高めたりすることが必要なのではないか。

どちらも一理あり、今行っている教育活動と照らし合わせて考えたり、振り返ったりする示唆となるものが多くありました。また、委員の方からは地域の気質や昔の話なども聞かせていただきました。

今回の学校運営協議会で話し合った内容については、現在まとめているところです。後日お知らせさせていただきます。

今後、様々な機会を通し、「木戸小学校の子どもにはこういうふうに育ててもらいたい」という声を聞かせていただき、それを学校の教育活動に反映させていきたいと考えています。